

平成 30 年度第 2 回市民健康づくり推進協議会議事録（公開用）

日 時	平成 31 年 2 月 7 日（木） 14：00～15：20
場 所	平塚市保健センター 3階 会議室 1、2
出席者	委 員 濱島委員、古正委員、石橋委員、小宮山委員、大草委員、石原委員、 中村委員、片岡委員、尾崎委員、竹下委員、岡田委員、福田委員、 米村委員 事務局 磯部課長、鶴井課長代理、萩尾課長代理、松本課長代理、坂田主管、 小泉主査 傍聴人 なし

1 開会

2 議題

- (1) 健康増進計画及び食育推進計画のための中間評価アンケート調査について
事務局から、標記アンケート調査について説明。

【会長】アンケートの対象者の抽出方法を教えてください。

【事務局】アンケートの対象者は住民基本台帳から完全無作為で抽出いたします。

【会長】どのくらいの回収率を見込んでいますか。例年はどの程度でしょうか。

【事務局】前回の実績は、3,000人中、1,334人から回答をいただいているため、44.5%となります。今回も同様の回収率を見込んでおります。

- (2) その他

① 今年度のがん検診の実施状況について

事務局から、がん検診の実施状況について説明。

【会長】がん検診の受診者数は分かりましたが、受診率を教えてください。

【事務局】受診率については、分母の捉え方が難しく、がん検診が受けられる対象者は該当年齢の方になりますが、対象の全人口で捉えるのか、あるいは会社に勤めている方は事業所健診で受ける方が多いのでその点を考慮すべきかで受診率が変わってきます。なお、昨年度の実績は14.9%です。

【会長】事業者健診で受けている方の数は把握されていらっしゃるのですか。

【事務局】把握しておりません。

【会長】事業所健診で受けている方を含めると、もっと受診率は上げるのですか。

【事務局】はい、その通りです。

【事務局】先ほどの受診率は、本市のがん検診の受診項目である肺がん、胃がん、乳がん、子宮がんの5つのがん検診の対象となる人口を分母とした数値です。分子は、がん検診を受けた方の人数となります。それぞれの受診項目によって受診率を算出し、その平均数値となります。この割合は、神奈川県内でもかなり低いものになっています。今年度は、大腸がん検診の受診率がかなり増加す

ることを見込んでおります。他の検診は伸び悩んでいるので、相対的には昨年度よりは受診率は高くなると予想しておりますが、やはり他の検診につきましても受診勧奨しなければならぬと非常に苦勞しております。皆様も是非、啓発に御協力いただけると助かります。

【会長】 県内や全国の主要都市の状況は分かりますか。

【事務局】 受診率の算出が市町村によって異なるため、一概には言えませんが、国では住民全体に対するがん検診を受けた割合を50%まで上げるという目標を掲げています。事業所健診でがん検診を受けている方もいらっしゃるのですが、その分を考慮して倍ぐらいの方が受けていると想定すると30%程度となります。50%の目標を達成するためには約20%上げる必要があります。神奈川県は全国ではまだ受診率が低い状況であることが示されています。

【委員】 がん検診についてですが、こくほの人間ドックを受けた方の人数は含まれていないのですか。

【事務局】 人間ドックの受診者の数は入っておりません。

【委員】 こくほの人間ドックの結果は市に報告することになっていますが、件数を把握していないのでしょうか。

【事務局】 こくほの人間ドックの助成は、国民健康保険を所管している保険年金課で実施しています。人間ドックの中にはがん検診と同じ項目が含まれていますが、人によって受けられる検査項目が異なります。そのため、所管課に確認すればこくほの人間ドックの助成を受けた方の件数を把握することはできますが、統計をとるためには一人ずつどの種類の検査を受けられたのか確認する必要があるため、がん検診の受診件数に含めることができません。

② 骨髄ドナー支援事業費補助金について

事務局から、骨髄ドナー支援事業費補助金について説明

【質疑応答なし】

③ ネウボラルームはぐくみの状況について

事務局からネウボラルームはぐくみの事業について説明

【会長】 メンタルヘルス相談について、定員が決まっているとのことですが、定員は埋まっていますか。

【事務局】 定員は埋まっておりません。自発的な相談がないため、職員からお声がけをして相談を勧める場合もかなりの手間がかかるため、なかなか満員にはなっておりませんので、是非御紹介いただきたいと思います。

【会長】 相談の後に医療が必要であっても、相談者に精神科の受診を勧めることはなかなか難しいとのことでしたが、うつ病に関しては精神科だけで抱えるのは難しいため、一般の内科医でも対応できるように医師会の中でも対応しております。もし精神科の敷居が高いということであれば、軽度のうつならばかかりつけの内科でも対応していただけるかもしれません。また、医師会に相談していただければ、この範囲であれば内科でも対応できるのではないかと案内していただければと思います。そのような方法もあるかと思っております。

④ ひらつかはぐくみ葉酸プロジェクト

事務局からひらつかはぐくみ予算プロジェクトの事業について説明

【質疑応答なし】

3 閉会

以 上